

長野県諏訪郡原村「原村・JOMO あゆみの森」における森林ボランティアの実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、CSR活動強化の一環として、昨年4月に長野県諏訪郡原村(村長:清水 澄)との間で「森林(もり)の里親」契約を締結し、原村の森林整備に協力しております。このたび、本年度第1回目(通算4回目)の活動として、5月27日と28日の両日、「原村・JOMO あゆみの森」およびその近隣において、社員らが参加して、地域住民と協働で森林ボランティアを実施しました。
2. 今回は、ボランティアとして当社グループの役員や社員およびその家族等が参加し、植林等の森林作業を実施するとともに、地元の方々との交流を通じて、森林の大切さや農山村の生活の知恵についての理解を深めました。概要は次のとおりです。
 - (1)開催日:2006年5月27日(土)~28日(日)
 - (2)場所:長野県諏訪郡原村
 - (3)内容:森林作業の安全・技術指導
ヤマザクラ、クリ、ミズナラ、ケヤキ等約800本の植林
地域の方々との交流会(自然散策、環境学習等)
 - (4)参加人員:約100名
(内訳)当社グループの役員・社員およびその家族 約80名
原村役場、長野県林務部、地域住民等 約20名
3. 長野県では、森林の健全な育成を図るため、2003年から「森林の里親促進事業」を推進しています。これは、長野県の仲介により、環境保全活動に取り組む企業と森林を保有する市町村が連携して森林整備に取り組むものです。当社は、本趣旨に賛同し、森林の里親として、二酸化炭素の吸収源となる森林整備のための資金を提供するほか、社員のボランティア等による整備活動を行っております。

以上

● 【添付資料】森林ボランティアの様様



ヤマザクラ、クリ、ケヤキ、ミズナラなど約800本を植樹



間伐材を使った木工教室で作品をつくる子どもたち

☞ 「原村・JOMO あゆみの森」Webサイト